

# 日本大学第三学園生徒支援会レター 第2号

2010年12月21日発行  
発行：生徒支援会役員会

## 「生徒支援会会則って何？」

平成22年度に、後援会活動を生徒支援会に引継ぐ際に、新たに生徒支援会会則を制定し、設立総会にて承認されたものです。ただし、本会則は後援会会則をベースに学校側で作成されたもので、保護者の意見が反映されていませんでした。先の設立総会でもその点を前提に、また今年一年かけて見直していくことを前提に承認していただきました。

今年度役員会では、現実に即した形に変更するべく会則の見直し、細則の制定を行い、その検討結果を定期総会にかけて承認していただくことを考えています。



## 「生徒支援会会則を改定しなければいけないの？」

今年の生徒支援会設立総会で、後援会から生徒支援会に引継ぎが行なわれましたが、今年度の役員候補が決まったのが、設立総会一週間前でした。承認された役員も総会時には2名の欠員があり、役員が全員決まったのが、7月10日の第一回幹事会です。また、設立総会で承認された会則や予算書は、学校や後援会に作成していただいたものでした。一方、役員会活動前半の半年間は、生徒支援会を取り巻く環境を把握するのに精一杯の状況でした。

そのような状況を踏まえ、来年度から生徒支援会が本格始動するためには、その活動の根幹となる会則を改定する必要があると考えています。

## 「新しい生徒支援会会則に向けて」

会則を改定するには、臨時総会を開催して会員の皆様に承認していただく方法もあります。しかしながら、臨時総会を開くとすると開催準備にかなりの時間を割く必要と負担が生じます。これを避けるために、次回定期総会前に会則の改定案を会員の皆様にお示し、次回定期総会で承認をお願いすることとしました。後日配布予定の会則改定案にじっくり目を通していただければと思います。定期総会日時は、決まり次第ご連絡いたします。

また、新年度からのクラス幹事、役員の選出も早い時期に皆様にお願ひし、次回定期総会后、すぐに活動できるように配慮したいと考えています。

「校長先生を囲む会」を開催します！

1月29日(土)13:00から、日本大学第三学園講堂にて

学校と保護者のコミュニケーションを直接図る第一歩として、校長先生を囲む会を生徒支援会主催で企画します。

皆さんには学校に聞きたいことが色々あると思います。まずは、校長先生に聞いてみましょう。当日は、定期演奏会がありますので、一時間程の会になると思います。詳細は別紙でお知らせします。当日は、和やかな会にしたいと思いますので、是非ご参加ください。



「クラブ活動の支援検討中！」

生徒支援会では、クラブ活動の支援も行っています。学校からの支援もありますが、限られた予算の中で、どのような支援が可能なのかも検討し、生徒支援会の来年度予算案を作成したいと考えています。



「創立80周年事業として、施設の見直し中！」

新しい施設をお楽しみに！

教頭 佐々木 剛

1976年に本校が町田に移転してから34年が経過しました。移転当初から本校の体育教育を支えてきた第一体育館、武道館、プールも随分と痛みが目立ちます。

昨年、本校は創立80周年を迎え、その記念事業の一環として、施設の見直しを検討してきました。現在、第一体育館、武道館、プールの建て直し計画を進めています。心身ともに逞しい生徒を育てることを目標に、細部までこだわった総合体育館に生まれ変わることを目指しています。建て直しに当たって、在校生には一部不自由をかけることとなりますが、新しい体育館を楽しみにして下さい。来年夏休み頃から工事が始まる予定です。



また、現在の校舎で、生徒達が授業以外で学習する場の中心となるのが図書館です。中学生が班で調べ物をしている姿や、高校生が試験前に友達同士で参考書を片手に勉強している姿をよく見かけます。ただ、席が確保できずに困っている生徒達も意外と多くいるようです。

そこで、駐輪場側に管理棟を拡張し、現在の図書室を総合学習施設として、リニューアルしようと計画中です。

また、生徒達の進路をサポートするための進路学習部も生徒達にとってはやや距離があったようです。ここも身近に感じることができる開放的な施設として充実させていこうと検討しています。できるだけ早いうちに生徒達に利用してもらえるよう準備していきますので、楽しみにして下さい。

## 「非常災害時の救急用非常食糧紹介！」

生徒支援会収支予算書には、防災対策費補助という項目があります。学校は、大地震等非常災害時に備え、救急用非常食糧を備蓄しています。その費用の一部を生徒支援会費から補助しています。救急用非常食糧品は、水、カンパン、缶詰等です。

非常災害時の学校での対応は学校のホームページにも掲載されていますが、今後様々な角度から検討していくことが大事だと思います。ご家族でも、非常災害時家族がばらばらになった場合に備え、その時の行動を話し合っておきましょう。



## 「学校やクラブ活動で怪我したら？」

生徒がクラブ活動等で怪我したらどうされていますか？学校から加入が進められている保険では、医療機関の初診費用はカバーされていないことをご存知ですか？生徒支援会では、クラブ活動中当等での怪我・疾病等の初診費用に限り、補助しています。先生方は良くご存知ですが、意外と会員の方で知らない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

生徒がクラブ活動等で怪我したら、まずは先生にご相談ください。



## 「最近思うこと」 会長 浅井文輔

ゆとり教育の見直しが始まっていることは皆さんご存知だと思います。学校との打合せで、夜遅くまで学校にいと、職員室にはまだ明かりがあり、多くの先生方が職員室に残られています。また、職員室の前の廊下では、生徒達の質問に熱心に答えられている先生方も多く見かけます。

保護者の目にはなかなか留まりにくい風景だと思います。本当にゆとりが必要なのは、実は先生方かもしれません。

## 「私学振興予算要望期成大会報告」 副会長 木津久子、 監事 三澤富美子

11月12日(金)千代田区の共立女子大学で開催されました。生徒支援会レター創刊号で紹介しました東京都私立小・中・高等学校協会私学振興拡充大会の集大成として、東京都12支部の教員と父母が参加しました。来賓に東京都議会副議長、各党各会派の都議会議員と東京都職員の方が出席し、教員と父母の参加者と合わせて、約1,850名と大変盛大に行われました。

本大会の目的は、今年4月から実施された「高等学校等就学支援金」制度により、父母が負担する高等学校教育費の較差を解消し、私立学校教育充実のため経常費補助の充実を訴えるもので、平成23年度東京都予算案の編成にあたり、東京都および都議会に要望するものです。日大三中・三高からは、塩沢先生、第8支部役員の方々、生徒支援会役員が参加しました。

## 「学校のホームページ見えていますか？」

皆さんは、学校のホームページを覗いたことがあるでしょうか？学校のことはもちろんですが、生徒たちの学校行事風景、クラブ活動、各種大会成績等も見ることができます。9月30日からは、校長先生のブログが開設されました。日々の学校の風景が校長先生の目線で見るすることができます。

生徒支援会が発足して約7ヶ月。いろいろとわかってきたことがあります。そのひとつは日本大学第三学園の特色として、鉄道の最寄り駅から遠い立地条件であることを再認識しました。保護者が集まって何かやろうと思っても、その足として必ず路線バスの増発、調整が必要になります。

例えば、クラス毎の茶話会をやろうと思っても、各保護者会後に行くには、スクールバス問題が立ち上がり、最寄り駅から学校までの路線バスの増発、調整には費用がかかります。保護者会などの学校行事の際の路線バス増発、調整費用は生徒支援会費で補助しています。もっと路線バスを増発して欲しいとの要望も聞いています。バスを利用されない方々からは、路線バスの増発費用は利用者負担にして欲しいとの意見もあります。

難しい問題です。今年度も検討をしてきましたが、継続検討事項として来年度の役員会の主要テーマの一つかもしれません。

今年度の役員会では、生徒支援会ホームページ立ち上げについても協議しました。今年度の予算からすると、ホームページの新規導入が難しいし、手続き上も会員総会の承認が必要である事項だと思えます。

ホームページ設置費用を来年度の予算に組み込み、来年度からのホームページの手続き、運用の確立に向けて、継続検討して行く方針です。

生徒支援会の情報発信方法として様々な検討を行えばいいと思います。どうぞ期待！



学校法人 日本大学第三学園



日本大学第三高等学校  
Enter

日本大学第三中学校  
Enter

\*このサイトはHTML5で構築されています。Internet Explorer 9.0より以降のバージョンで閲覧してください。  
\*このサイトは、HTML5で構築されています。Flashコンテンツを閲覧するには、最新のFlash Playerが必要です。



日本大学第三高等学校 | 日本大学第三中学校  
Copyright ©2013 The Third Nihon University, Ltd.

## 編集後記

生徒支援会レター第2号を発行することもでき、役員会活動がようやく軌道に乗ってきた感があります。来年度の生徒支援会活動を見据えた検討も始めています。一方で、まだまだわからないこともたくさんあります。学校に少しずつその経緯や内容についてお話を伺いながら、それを踏まえて、生徒支援会としてどのように活動していくべきか考えています。今後ともより良い学校環境構築に向けて、ご協力をお願いいたします。